

保坂委員 提出資料



乳幼児、小・中学生等の予防接種
 (18歳以下の年齢の方が対象です)

種目	注意	3か月	6か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	18歳
集団接種 結核 (BCG)	●毎月、集団接種で実施。 ●直接、BCG接種を1回。	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
個別接種 三種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風)	●1期初回:20~56日までの間隔で3回。 ●1期追加:初回完了後1年~1年半に1回。 ●2期:二種混合(ジフテリア・破傷風)で1回。	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
個別接種 ポリオ (急性灰白髄炎)	●5月/10月のみ実施。 ●41日以上の間隔で2回。 ●スピイトで飲むワクチンです。	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
個別接種 麻しん風しん混合	●1期:1歳~1歳11か月までに1回。 ●2期:小学校就学前の1年間に1回。 (平成16年4月2日~平成17年4月1日生まれの方) ●3期:中学1年生に相当する年齢の方 (平成9年4月2日~平成10年4月1日生まれの方) ●4期:高校3年生に相当する年齢の方 (平成4年4月2日~平成5年4月1日生まれの方)	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
個別接種 日本脳炎	●1期:6か月(標準年齢は3歳)~7歳5か月 接種回数:3回 ●2期:9歳~12歳11か月 接種回数:1回	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①

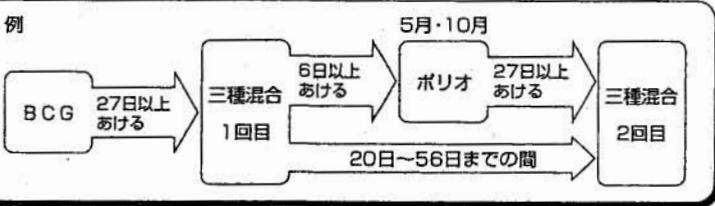
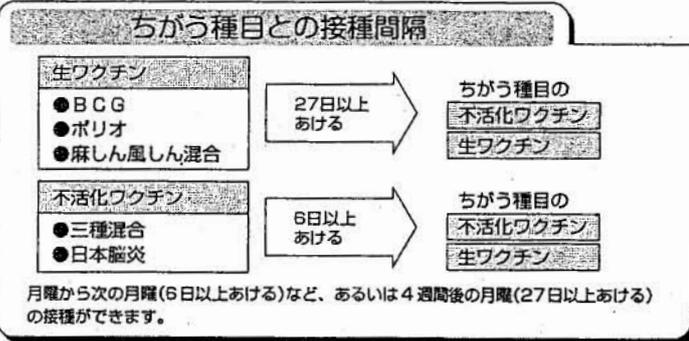
標準年齢 (数字は接種回数です)

対象年齢 (標準年齢外でも、無料で接種できる期間)

麻しん風しん混合接種を受けていない方が対象の接種

① お知らせを郵送します

現在、日本脳炎予防接種については、積極的な勧奨を行っていません。今後変更がありましたら、ホームページ等でお知らせします。



標準年齢と対象年齢

予防接種には予防する病気やワクチンの性質上最適な接種年齢があり、それらを示したものが「標準年齢」です。したがって予防接種はこの標準年齢内に受けることが大切です。お子さんは体調をくずしやすく他にもいろいろなき事情でやむをえず標準年齢内に受けられないこともあります。その場合でも対象年齢内であれば無料で接種できますので、対象年齢内には接種を済ませましょう。対象年齢外になると有料接種になります。

接種年(月)齢について一例え、平成22年7月8日生まれのお子さんは、平成22年10月7日に満3か月になり、三種混合、ポリオ(5月と10月のみ実施)が受けられます。また、麻しん風しん混合1期の接種期間は平成23年7月7日(1歳の誕生日の前日)から平成24年7月6日(2歳の誕生日の前日)までとなります。

「予防接種と子どもの健康」(小冊子)について

予防接種を正しい知識を持って安全に受けていただくために、「予防接種と子どもの健康」という小冊子があります。これは予防する病気の説明やワクチンの特徴・副反応などをわかりやすくまとめたものです。予防接種を受ける前には必ずこの小冊子や市からの説明書を読んで予防接種の内容を理解してください。

八王子市では母子健康手帳と同時にお渡ししています。お持ちでない方は保健センターへご連絡ください。

麻しん風しん混合予防接種について

予防接種法施行令の一部改正に伴い、平成20年4月から麻しん風しん混合ワクチンの予防接種の対象年齢が追加されました。今までの第1期と第2期との2回接種に加え、補足的接種として5年間(平成20年度から平成24年度まで)、第3期として中学1年生に相当する年齢の方と、第4期として高校3年生に相当する年齢の方が対象となります。

予防接種の通知

予防接種は、接種当日に住居登録してある区市町村で受けることになります。小学校入学前八王子市に住居登録や外国人登録のあるお子さんは、各予防接種の種目ごとに新たに標準年齢に達する月の月上旬に通知書(お知らせ)を郵送します。ただし、個別接種でも実施時期が限定されるポリオ(5月・10月)は、お子さんが初めて接種する機会が来た時に郵送します。

なお、通知は各予防接種の種目ごとに1回だけです。何回も続けて受けるもの(ポリオ/三種混合)は受け忘れのないように注意してください。

小学生に通知する学年

◆二種混合(2期)→小学校6年生

※現在、日本脳炎の個別通知は郵送していません。

市外から転入された方へ

八王子市以外の区市町村から転入された場合、転入届を出した時点で、お子さんがこれから受けようとしている予防接種の標準年齢にすでに達している場合などは、その予防接種の通知書(お知らせ)は郵送されません。この場合は、転入届を出した後に個別接種協力医療機関に予約のうえ「母子健康手帳」を持って、お出かけください。

また結核(BCG)は、集団接種となりますので、日時と会場を保健センターに確認のうえ「母子健康手帳」を持って、お出かけください。

なお、予約はそれぞれの個別接種協力医療機関または結核(BCG)接種会場に用意してあります。

5月第3日曜日は「市民健康の日」です。10健康フェスタは、平成22年5月16日(日)富士森陸上競技場で開催されます。

DT 二種混合(ジフテリア・破傷風)第2期予防接種のお知らせ

対象年齢：11歳～12歳11か月(13歳の誕生日の前日まで)

(例)平成10年4月20日生まれのお子さんの場合は平成23年4月18日まで

接種当日対象年齢内で八王子市に住民登録(外国人登録)があるお子さんが無料で受けられます。

小学校6年生は、二種混合第2期予防接種の標準年齢になります。このお知らせをお読みになり、お子さんの体調が良い時に個別接種協力医療機関(裏面の一覧表)に予約をして、二種混合予防接種第2期の接種を受けましょう。
母子健康手帳の接種記録を確認してください。「DT」ワクチンの記録があり、11歳になってから、すでに接種済みの場合は接種不要です。対象年齢内(11～12歳11か月)で接種は1回です。この接種費用は無料です。

1. 予防する病気の特徴

【ジフテリア】 ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。主にのど・鼻に感染し高熱・のどの痛み・犬吠様の咳・嘔吐などの症状があり、偽膜を形成して窒息死することがあります。発病2～3週間後には心筋障害や神経麻痺を起こすことがありますので注意が必要です。

【破傷風】 破傷風菌はヒトからヒトへ感染するのではなく、土中にいる菌が傷口から体内に入ることによって感染します。菌が体の中で増えると、口が開かなくなったり、けいれんを起こしたり、死亡することもあります。土中に菌がいるため感染機会は常にあります。

2. 接種回数 標準年齢(学年) 小学校6年生 ⇒ 1回接種 *下記の表を参考ください。

第1期 三種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳)3回 + 追加接種1回

7歳半になるまでに接種をする。

*基礎免疫をつけるための接種です。

第2期 二種混合(ジフテリア・破傷風)
接種は1回のみです。

小学6年生頃接種。(11歳～12歳11か月まで)

*基礎免疫を強化するための接種です。

6年生での二種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種は、幼児期の三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風)第1期の接種によりすでに獲得している基礎免疫への追加が目的です。基礎免疫ができていないと十分な予防効果が期待できませんので、もし、幼児期の第1期の接種が完了していない場合は、まず基礎免疫をつけることが大切です。基礎免疫を作る場合は最初の1回を除いて有料になりますので医師に相談してください。

二種混合第2期の予防接種の対象年齢は、12歳11か月までですが、中学1年生になると麻しん風しん混合第3期の予防接種の対象年齢になりますので、接種時期が重ならない小学6年生のうちに接種を済ませておくことをおすすめします。

3. 副反応

注射部位の発赤・腫脹・しこりなどの局所反応が主です。これは免疫がついているから起こる現象です。なお、しこりは少しずつ小さくなりますが数週間残ることもあります。また、通常高熱は出ませんが、接種後24時間以内に37.5℃以上になった子が約0.1%あります。

以上のように重篤な副反応はありませんが、万一このほかに何らかの異常が強く出た場合(けいれん・高熱など)は、医師の診察を受け保健センターまでご連絡ください。万一、予防接種法に基づく定期の予防接種を受けて重篤な健康被害が発生した時には、予防接種法の規定により健康被害に対する給付が行われます。

4. 予防接種の受け方 *予診票は医療機関にあります。「母子健康手帳」を持参しましょう。

(接種前の注意)

- ① 予防接種の必要性を理解し、接種を希望することが大切です。
- ② 接種を受けようとする個別接種協力医療機関(裏面の一覧表)に、予約をしてください。
- ③ 接種の前日は入浴し、当日は健康状態を確認して清潔な衣服を着せてください。
- ④ 接種当日は、「母子健康手帳」を持ち、医師の質問に答えられる保護者の方が、お子さんと一緒に、予約した医療機関に行ってください。*医療機関で「予診票」を受け取り、保護者が責任を持って記入してください。
- ⑤ 接種の記録を確認しましょう。

* 持参した母子健康手帳の「予防接種の記録」欄へ、接種医師が記入します。また「母子健康手帳」の無い方は「予防接種済証」を医療機関で受け取り過去の記録と一緒にしておいてください。

大切な接種の記録は自己管理をお願いいたします。

(接種後の注意)

- ① 接種した部分を、軽く押さえる程度にして、もむ必要はありません。
- ② 接種当日は激しい運動を控え、接種部分を強く擦らなければ入浴は差し支えありません。
- ③ 万一何らかの異常(けいれん・高熱など)が強く出た時は医師の診察を受け、保健センターに連絡してください。

5. 予防接種が受けられないお子さん

- ① 明らかに発熱(37.5℃以上)している子
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな子
- ③ 接種する接種液の成分により、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな子
- ④ 麻しん(はしか)・風しん・水ぼうそう・おたふくかぜにかかり、治ってから4週間を経過していない子、またはこれらの病気に感染している確率の高い子
- ⑤ 麻しん(はしか)・風しん・ポリオ・BCG・水ぼうそう・おたふくかぜなどの予防接種を受けてから27日以上または日本脳炎・インフルエンザ・B型肝炎などの予防接種を受けてから6日以上を経過していない子
- ⑥ その他医師が不適当と認める子

6. 医師と相談が必要なお子さん

- ① 心臓血管系・腎臓・肝臓・血液疾患や発育障害等の基礎疾患が明らかにある子
- ② 前回の予防接種で2日以内に発熱・全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった子
- ③ 接種する接種液の成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある子
- ④ 今までにけいれんの症状を起こしたことがある子
- ⑤ 今までに免疫不全の診断がなされている子

予診票は同封していません。接種を受ける医療機関で接種当日お渡しします。

八王子市

三種混合(Dジフテリア・P百日せき・T破傷風) 予防接種のお知らせ

対象年齢：生後3か月(3か月の誕生日の前日)～7歳5か月(7歳6か月の誕生日の前前日)

お子さんが生後3か月になりますと、三種混合予防接種の対象年齢になります。三種混合予防接種は個別接種です。感染症から子どもを守るために予防接種は非常に効果の高い手段です。このお知らせと小冊子「予防接種と子どもの健康」(母子健康手帳と同時に同封しています。)をお読みになり、予防接種の必要性をよく理解して、お子さんの体調が良いときに「母子健康手帳」を持って個別接種協力医療機関(裏面の一覧表)で予防接種を受けましょう。

接種の間隔は予防接種法で定められています。接種の効果を高めるためにも間が空き過ぎないように、特に1期初回の1回目と2回目、また2回目と3回目はいづれも56日を超えないように注意してください。お子さんの予防接種スケジュールを立てて計画的に接種をするようにしましょう。標準年齢(予防効果と安全性から接種を受ける望ましい時期のこと)で接種を受けることが大切ですが、対象年齢内(7歳5ヶ月まで)でしたら接種は無料です。

● 予防する病気の特徴

ジフテリア⇒ 菌の飛沫感染により高熱・のどの痛み・犬吠様の咳・嘔吐などで、偽膜を形成して窒息死することがあります。発病後2～3週間後には心筋障害や神経麻痺をおこすことがありますので注意が必要です。
百日せき⇒ 菌の飛沫感染により普通のカゼのような症状で始まります。続いて連続的にせき込むようになり乳幼児は呼吸が出来ず、チアノーゼ・けいれん・肺炎・脳症などをおこすことがあります。乳幼児では死亡することもあります。
破傷風⇒ 土の中にいる菌が傷口から入り体の中で増えると、口が開かなくなる・けいれんをおこすなど、死亡することもあります。患者の半数は自分では気づかない程度の軽い傷が原因です。日本中どこでも土中に菌はいますので、感染する機会は常にあります。

● 接種年齢と間隔・回数 ※BCG接種を受けてからは、27日以上あけてください。

三種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風)

☆対象年齢の生後3か月(3ヶ月の誕生日の前日)～7歳5か月(7歳6か月の誕生日の前前日)まで

【1期初回】1・2・3回目 標準年齢 ⇒ 生後3か月～11か月 / *20日から56日までの間隔で3回接種

(※接種間隔が56日を超過した場合は、その回は対象年齢内であっても法定外接種となります。ただし、発熱などの医学的要因により接種できなかった場合はその状態が解消されたあと速やかに接種した場合は、期間外であっても定期接種とみなされます。)

予防接種の効果を高めるために、規定の接種間隔で受けるようにスケジュールをたてましょう。

【1期追加】標準年齢 ⇒ 1歳6か月～2歳5か月 / *3回目を接種後1年～1年6か月の間に1回接種
 八王子市に住民登録(外国人登録)があり、対象年齢内(7歳5ヶ月まで)のお子さんは無料で接種できます。7歳5か月を超えると任意接種(自費の接種)となり、接種する場合は有料になります。

● 注 意

標準年齢内に接種することが大切ですが、それを過ぎて対象年齢内であれば無料で接種できますので、体調の良いときなるべく早く受けましょう。もしも決められた間隔以上にあいてしまった場合でも、受け直しはせずに規定の回数を超えないように接種してください。

三種混合の通知はこの1回だけなので特に1期追加は受け忘れの無いように注意してください。

● 予防接種の受け方 *予防接種はお子さんの体調のよい時に受けるのが原則です。

【接種前】

- ① 三種混合予防接種の必要性を理解し、接種を希望することが大切です。このお知らせ、小冊子をよくお読みください。
- ② 接種を受けようとする個別接種協力医療機関(裏面の一覧表)に予約をしてください。
- ③ 接種の前日は入浴し、当日は保護者が健康状態を確認して清潔な衣服を着せてください。
- ④ 医師の質問に十分答えられる方が、予約した個別接種協力医療機関にお子さんを連れて行ってください。予診票には、平熱を記入する欄があります。日頃のお子さんの体温を知っておくようにしましょう。
*「母子健康手帳」を持参し、これまでの予防接種記録を医師に提示できるようにしてください。
- ⑤ 「予診票」は個別接種協力医療機関で受け取り、保護者が責任を持って記入してください。

【接種後】

- ① 注射した部分は、軽く押さえる程度にして、もむ必要はありません。
- ② 「母子健康手帳」の「予防接種の記録」欄へ、接種医師に記入してもらってください。
* 予防接種の記録は大切に保管しましょう。
- ③ 接種当日は激しい運動を控え、注射した部分を強くこすらなければ入浴は差し支えありません。

● 接種が受けられないお子さん

- ① 明らかに発熱している子(37.5℃以上)
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな子
- ③ 接種する接種液の成分により、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな子
- ④ 麻しん(はしか)・風しん・水ぼうそう・おたふくかぜにかかり、治ってから4週間を経過していない子、またはこれらの病気に感染している確率の高い子
- ⑤ 麻しん(はしか)・風しん混合・麻しん単独・風しん単独・ポリオ・BCG・水ぼうそう・おたふくかぜなどの予防接種を受けてから27日以上、または日本脳炎・インフルエンザ・B型肝炎などの予防接種を受けてから6日以上を経過していない子
- ⑥ その他医師が不適当と認める子

● 医師と相談が必要なお子さん

- ① 心臓血管系・腎臓・肝臓・血液疾患や発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな子
- ② 前回の予防接種で2日以内に発熱・全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった子
- ③ 接種する接種液の成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある子
- ④ 今までにけいれんの症状を起こしたことがある子(主治医の判断が必要な場合もあります。)
- ⑤ 今までに免疫不全の診断がなされている子

● 副 反 応

主な副反応は、発赤、腫脹、硬結の局所反応が最も多く認められます。また、全身反応として発熱・不機嫌がみられることもあります。いずれも一過性で2～3日中に消失します。また、アルミニウムゲルを含む沈降ワクチンのため接種した部位の硬結が1ヶ月くらい残存することもあります。局所反応は、接種回数を重ねるごとに増加します。通常見られない副反応として、接種部位を中心に上腕全体にまで及ぶ高度の発赤、腫脹が2～3日後にみられることがあります。局所反応が著しい場合は、接種液に対するアレルギー、過敏症が考えられますので、接種した医療機関にご相談ください。また次回からの接種には注意が必要です。必ず前回の接種時の反応について医師に申し出てください。

☆なお万が一のほかに、何らかの異常(けいれん・高熱など)が強くなった場合には、医師の診察を受け保健センターまでご連絡ください。万一、予防接種法に基く定期の予防接種を受けて重篤な健康被害が発生した時には、予防接種法の規定により健康被害に対する給付が行われます。